

2012.06.14

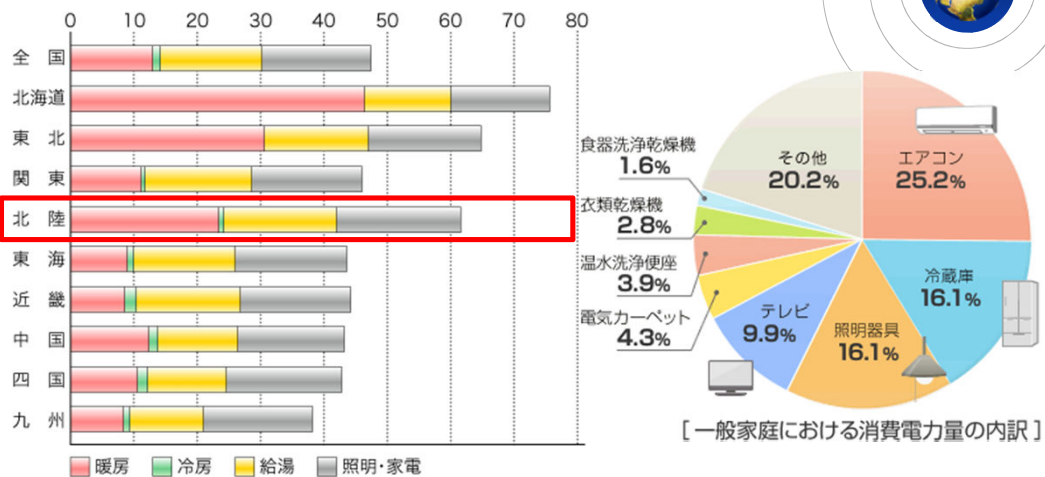
『スマート暮らし実証事業』 ～研究計画～



 福井工業大学
Fukui University of Technology

建築生活環境学科
中野 民雄

北陸地域のエネルギー消費



出典: 住環境計画研究所: 家庭用エネルギー統計年報より

出典: 資源エネルギー庁: 電力需給の概要より

**北陸地域の主要エネルギーは、
暖房・家電・給湯で消費するエネルギー**

巷に溢れる省エネ行動の課題



1. 行動に具体性が無い

例) シャワーを流しっぱなしにしない
⇒ 一体誰が、いつ、どのくらい止めるのか？

2. 行動に無理がある

例) 暖房設定温度を20度にする
⇒ 北陸地域で、古民家で、それは無理・・・

3. 行動ではなく我慢である

例) 暖房時間を減らす
⇒ 我慢すれば節約できる、でも続きません。

4. 生活レベルを下げる

例) 蛍光灯を1本減らす
⇒ 生活レベルが下がり、そして行動でもない。

スマート暮らしの本質



緑のカーテン



打ち水



エアコン非使用



エコ ≠ 我慢

スマート暮らしの本質は、
エコロジー（環境に優しく）と
エコノミー（財布に優しく）の両立

研究方針



1. 生活に負担をかけず、我慢や自己犠牲を伴わない省エネ行動の実施
2. 一過性ではない持続可能なライフスタイルの転換を図る省エネ行動の実施
3. 既存住宅で手軽に実施可能であり、かつ汎用性が高い省エネ行動の実施

嶺南地域（高浜町・おおい町）において、
スマート暮らしの実証・研究

研究計画：2012年度



省エネSTEP①：Evolution of Life-Style
⇒パッシブ型省エネ行動

- 各家庭におけるエネルギー使用実態・行動パターンを分析
- 生活におけるムリ・ムラ・ムダの抽出
- 各家庭の生活に対応した省エネ行動の提案・実施

研究計画:2013年度



省エネSTEP②: Revolution of Life-Style ⇒アクティブ型省エネ行動

- 効果が高く、手軽に購入できる省エネ機器・省エネ製品の導入
- 省エネ新ライフスタイルの提案・実施
- 各家庭において使用している既存エネルギーの有効転換

研究計画:総合



<省エネ行動実施計画>

	2012年度省エネ行動実施計画				2013年度省エネ行動実施計画			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
Aグループ(高浜:5戸, おおい:2戸)	対策なし		省エネ STEP①		省エネ STEP②		省エネ STEP②	
Bグループ(高浜:4戸, おおい:2戸)	対策なし		対策なし		省エネ STEP①		省エネ STEP②	

- 学生が主体となり、2ヵ月に1度各家庭を訪問して、省エネ行動をアドバイス
- 各家庭の生活状況調査票を分析して、光熱費使用実態を各家庭にフィードバック
- 各家庭に対して、年度末にアンケートを実施して、パッシブ⇒アクティブへの意識転換

